

- 《三島保育所保育目標》
- 仲間を大切に子ども
 - 自分で考えて行動する子ども
 - 心身の健康な子ども
 - 自然に親しみ、生きる喜び、命の大切さを知る子ども

桐の花

三島保育所通信

令和4年 11月 発行

やきいも大会

♪♪ やきいも やきいも おなかがグー！ ほっかほっか ほっかほっか あっちのチー！
たべたらなくなる なんにもパー！ それーやきいもまとめて グー！チー！パー！♪♪

この歌は子どもたちの大好きな歌で、歌い終わった後はみんなでじゃんけんをします。やきいも大会の日もやきいもができるまで、みんなで歌ってじゃんけんをして盛り上がりました。

さつまいもを新聞紙、ホイルの順に包んで、落ち葉の中で焼いたら・・・ホカホカ、きいろくてあま〜いやきいもになりました。



歌のプレゼント♪ ～中学校特設合唱部来所～

中学校のお兄さんお姉さんが来所し、子どもたちに歌のプレゼントをしてくれました。子どもたちは一生懸命に歌う中学生に圧倒され、静かに聴き入っていました。歌い終わった後、子どもたちは大きな拍手をしていました。最後は全員でダンスをして楽しみました。



「かわいい衣装～ハロウィン～」

10月31日はハロウィンでした。リナ先生が、紙で作るかぼちゃの帽子を教えてくれて、みんなで楽しんで作りました。かぼちゃの帽子をかぶり、ハイポーズ！！



人形劇鑑賞

～ジャマイカの昔話～

今年も、喜多方市にある「人形劇団メイプルシロップ」による人形劇鑑賞を楽しみました。今年の演目はジャマイカの昔話「アナンシと5」というお話です。魔女の名前が「5」というなんとも不思議なお話です。「5」という魔女とする賢いクモ男アナンシとの掛け合いがとても面白かったです。

テンポの良い人形劇に最後まで楽しく観ていた子どもたちでした。人形劇終了後、子どもたちは人形と握手をすることができ大満足でした。



「何?」「布!」→「なにぬの屋」

布紙芝居鑑賞

三島保育所に初めて来所された「なにぬの屋」の渋川やこさんは、郡山市を拠点に活動されているパフォーマーです。「布でつくった紙芝居」で「子どもが身近に遊ぶ場所」へお芝居を「出前」する方です。以前は東京の「劇団風の子」に所属していました。表現豊かに演じる渋川やこさんに釘付けの子どもたちでした。

演目は「あめのひのかくれんぼ」と「カメのこうらはひびだらけ」でした。布でできている紙芝居なので、どこか温かみがあり、ほっこりとした気分になりました。また、布紙芝居には、スパンコールやビーズ、刺繍が施され、とても綺麗でした。

